

心臓リハビリテーション認定医・上級指導士認定試験 募集要項

2023年3月吉日

日本心臓リハビリテーション学会

心臓リハビリテーション認定医・上級指導士部会 部会長 小笹寧子

心臓リハビリテーション認定医・上級指導士認定制度の新設について

■認定制度成立の経緯と認定趣旨について

日本心臓リハビリテーション学会は、2000年に、我が国における包括的心臓リハビリテーションの質的向上を目指して、「日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士」制度を発足させました。包括的心臓リハビリテーションとは、心臓病患者における社会復帰および再発予防を目的とし、運動療法のみならず、患者教育や心理カウンセリング等を包括した治療手段です。包括的心臓リハビリテーションには、医師、看護師、理学療法士、臨床検査技師、管理栄養士、薬剤師、臨床工学技士、臨床心理士、公認心理師、作業療法士、健康運動指導士などが関与し、その円滑な遂行のためには、相互理解と技術の向上及び専門知識修得が必要です。当学会は、包括的心臓リハビリテーション実施に必要な知識と技術を有し、その理念を理解する医療専門職を「心臓リハビリテーション指導士」として認定し、心疾患の治療・予防に種々の医療専門職間の積極的な参加を可能とし、包括的心臓リハビリテーションの定着に貢献してきました。現在約7,000人以上のかたが心臓リハビリテーション指導士として認定されております。

そして2015年に日本心臓リハビリテーション学会は、心臓リハビリテーション指導士の資格を有し、心臓リハビリテーション医療の質が担保された施設を運営する知識と能力を備える、心臓リハビリテーション認定医・上級指導士の認定制度を設立いたしました。すなわち、心臓リハビリテーション指導士資格を有し、心臓リハビリテーション医療の質が担保された施設を運営する知識と能力を備えた者であって、医師の資格を有する者を「心臓リハビリテーション認定医」、心臓リハビリテーション指導士資格を有し、心臓リハビリテーション医療の質が担保された施設を運営する知識と能力を備えた者であって、医師以外の資格を有する者を「心臓リハビリテーション上級指導士」と認定します。この制度の目的は、心臓リハビリテーションの医学的エビデンスの構築に協力し、標準リハビリテーションプログラムに基づいて安全で効果的な心臓リハビリテーションを提供する施設を管理・統括し、さらなる発展向上に取り組む人材を確保し、以て国民の健康・福祉に貢献することです。

認定医・上級指導士は自施設の心臓リハビリテーションの運営と統括に貢献し、自施設の心臓リハビリテーションの質の向上に努め、心臓リハビリテーションに関する学術活動および学会での活動を積極的に取り組み、我が国での心臓リハビリテーションの普及に努め、レジストリー制度に貢献することが求められます。

募集要項

1. 募集人員

100名程度

2. 応募期間

2023年4月17日（月）から5月9日（火）**必着**

※締め切り後に届いたものにつきましては、いかなる理由があっても受付しませんのでご了承ください。

3. 試験日時

2023年7月17日（月・祝）10:00~11:00

パシフィコ横浜ノース

4. 申請書類

次の書類を揃えて申請してください。

提出書類に関しては誤りがないよう、また、日付や名前等の記載漏れが無いよう十分注意して下さい。推薦状、表紙以外は手書き不可とします。

送付先：〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-23-1-260

日本心臓リハビリテーション学会事務局

Tel.03-6300-7977 Fax.03-6300-7966

(E-mail:jacr-society@umin.ac.jp)

【心臓リハビリテーション認定医・上級指導士認定受験】規則をよくお読みください

- ① 表紙チェックリスト（必ず本状を一番上にして送付のこと 書類様式1ダウンロード）
- ② 受験申請書（書類様式2ダウンロード）
- ③ 申請資格の内訳（書類様式3ダウンロード）
※ 論文、抄録のコピーも要提出
- ④ 所属長の推薦状（書類様式4ダウンロード）
- ⑤ 20例経験症例（所定様式にパソコンで入力し提出：書類様式5ダウンロード）
- ⑥ 受講票用顔写真「4.5cm×3.5cm」2枚

※受験年度に当たる2023年度までの年会費が未納の方は受験できません。

2023年度会費納付書は、2023年3月中旬ごろ郵送しておりますので、2023年5月9日までに必ず払い込んでください。期日までに会費の振込が確認できない場合は書類審査をいたしません。郵便振込用紙には本人が特定できるように、お名前の記入を確実にしてください（事務局から送付したものをご使用ください）。

5. 資格の取得方法について

心臓リハビリテーション認定医・上級指導士資格認定を申請する者は、

1. 申請時に本学会の心臓リハビリテーション指導士資格を1回以上更新し、当該年度の学会費を完納していること。
2. 申請時から過去5年間に以下の各号のいずれかに該当すること。また、研究発表、原著論文については症例報告を除く。
 - (1)本学会の学術集会で筆頭者として研究発表を1回以上行い、かつ本学会誌または査読のある学術誌に心臓リハビリテーションに関連する原著論文または総説論文(いずれも共著可)を1編以上発表していること。
 - (2) 本学会誌または査読のある学術誌に心臓リハビリテーションに関連する原著論文または総説論文を筆頭者として1編以上発表していること。
 - (3)本学会誌または査読のある学術誌に心臓リハビリテーションに関連する原著論文または総説論文を共著者として3編以上発表していること。
3. 認定委員会が実施する資格試験に合格すること。
4. 20例の経験症例(自施設もしくは関連施設で経験)を報告すること。
5. 所属長の推薦があること。

以上の5条件を満たす必要があります。

※2020年度指導士資格更新の延期措置に応じた特例措置について

2020年度のCOVID-19感染拡大に伴う心臓リハビリテーション指導士資格延長措置により2020年8月～2024年8月に指導士資格更新を予定していた方は全員1年ずつ指導士更新年が延長となっています。

2022年8月時点で指導士資格更新の条件(取得単位数含む)が整っていた指導士の会員には、今年度の認定医・上級指導士資格受験の応募資格を認めることとなりました。

本年の認定医・上級指導士資格試験の受験を希望される場合は、応募時に指導士資格の更新手続きを行っていただくことが条件となります。該当する場合は、書類様式4の1)心臓リハビリテーション指導士資格を1回以上更新している。(□2022年8月時点で更新条件を全て満たしていた)の□にチェックを入れていただき、応募してください。事務局にて確認後、指導士資格更新手続きのご連絡をいたしますので、ご準備いただきますようよろしくお願いいたします。指導士資格更新手続きをしていただけない場合は、本試験の受験は認められません。

6. 審査料

審査料 15,000円

*締め切り後、書類審査に通過した方のみ、審査料の振込用紙を事務局から送付いたします。通常の会費振込口座とは異なるため、必ずその振込用紙でお振込ください。

*納入した審査料は理由の如何を問わず返還いたしません。指定した期日までに必ず入金してください。理由無く期日までに審査料を納付されなかった方は以後の受験を認めません。

心臓リハビリテーション認定医・上級指導士認定委員会が年1回申請書類を審査し、受験資格を認めら

れたものが、年1回学術集会時に行われる試験を受験します。認定委員会が資格試験の結果に基づき認定対象者を選出し、理事会の承認を経て、理事長が認定医・上級指導士証を交付します。

なお、認定医・上級指導士の年会費は、以下になり、学術集会参加費が免除になります。

【認定医・上級指導士年会費】

医師（学会誌あり）28,000円

医師（学会誌なし）26,000円

医師以外（学会誌あり）18,000円

医師以外（学会誌なし）16,000円

7. 資格の更新について

初回の認定医・上級指導士取得のときには心臓リハビリテーション指導士資格も同時に更新となります。次回の認定医・上級指導士更新時に同資格の更新を希望しないときは心臓リハビリテーション指導士のみ更新できます。

本学会の認定医・上級指導士の更新を申請する者は、

1. 規則に定める研修単位を75単位（学術集会への2回以上の参加かつ学会が指定した必須プログラム（医療安全に関する講習を含む）の参加を含むこと。）を取得していること。

2. 申請時から過去5年間に以下の各号のいずれかに該当すること。また、研究発表、原著論文については症例報告を除く。

(1)本学会の学術集会で筆頭者として研究発表を1回以上行い、かつ本学会誌または査読のある学術誌に心臓リハビリテーションに関連する原著論文または総説論文（いずれも共著可）を1編以上発表していること。

(2)本学会誌または査読のある学術誌に心臓リハビリテーションに関連する原著論文または総説論文を筆頭者として1編以上発表していること。

(3)本学会誌または査読のある学術誌に心臓リハビリテーションに関連する原著論文または総説論文を共著者として3編以上発表していること。

3. 認定期間満了までに更新手続きを行ったものであること。

以上の3条件を満たす必要があります。研修単位は、心臓リハビリテーション指導士と共通です。

以上